

議会報告会（委員長報告）

委員会名 一般会計予算等審査特別委員会

開催日時	平成 30 年 3 月 5 日（月）、6 日（火）、7 日（水）、8 日（木）、12 日（月）、13 日（火） 午前 9 時 30 分から
開催場所	議会全員協議会室
報告者	日向慎吾委員長、池田実副委員長
出席議員	日向慎吾委員長、池田実副委員長、武野裕子委員、西岡幸子委員、森功一委員、高野洋一委員、永田磨梨奈委員、中村聡一郎委員、伊藤倫邦委員、保坂令子委員
報告内容	（件名及び審査概要） 議案第 108 号平成 30 年度鎌倉市一般会計予算外 29 議案について審議いたしました。当委員会は 3 月 5 日より延べ 6 日間にわたって委員会を開き、市長が所信表明で述べている予算の内容はどのようなものか、詳細な質疑及び活発な意見交換を行った結果、付託を受けました 30 議案のうち、一般会計予算については、修正案及び修正部分を除く原案について可決、その他の 29 議案については、原案のとおり可決いたしました。以下、一般会計予算の修正案および当委員会においてまとめた意見を記します。 <u>一般会計予算の修正案（概要）</u> 生ごみ減容化施設については、原局において平成 29 年 6 月から検討、準備が進められていたにも関わらず、議会に対する報告は一切なく唐突に予算計上されてきたことについて、担当原局及び理事者に対して質疑を行ったところ、納得できる説明が得られず、生ごみ減容化施設の整備が安定したごみ処理につながるか否か判断できなかったこと、本件は本市が山崎浄化センター未活用地に計画している新ごみ焼却施設建設にも大きな影響を与える事業であることから、新ごみ焼却施設建設の方針を明確にする必要があること、生ごみ減容化施設整備の是非については附属機関に諮問し、その答申をもとに予算計上した上で、市民理解を得ながら行政計画として進めるべきであること、といった理由から、生ごみ減容化施設建設に係る各種調査業務及び建設工事設計委託料 69,466 千円を減額しようとするものです。 修正案について採決を行った結果、多数により可決いたしました。 <u>委員長報告における意見（概要）</u> ①防災対策について 防災に関する各種課題の解決に当たっては、市民との協働が求められるものや、庁内横断的な対応が求められるものが多く、これらは I C Tを活用するこ

	とで解決の糸口が見えるものもある。今後、I C T等の活用により、課題解決に取り組むことを求めるとともに、市民の防災意識の向上を図り、自助意識を高めていくためにも、ハード面、ソフト面での防災対策の強化を求めました。 ②公共施設再編事業について 市役所本庁舎については市民の生命と財産を守るといった使命のほか、災害時において果たす役割は大きく、また支所の窓口機能については、市民サービス及び地域の拠点といった視点からも重要であることから、本庁舎等の整備や支所の窓口機能のあり方を検討する際には、市民意見を十分に聴取するとともに、市民への説明責任を果たした上で計画を進めることを求めました。 ③安定的なごみ処理施策について ごみ処理行政については、ごみ処理に係る全体計画との整合性を図りながら、想定される課題を抽出し、解決方法を協議した上で進めていくべきであり、計画を推進するに当たっては、将来へつながる施策として、住民及び議会に対して十分な説明を尽くすことを求めました。 ④空き家等対策推進事業について 本市が空き家対策の取り組みを推進していく際には、近隣の情報等を把握していくことで、安心・安全な環境を確保することを求めました。
--	---